

- 合同防災訓練／城北工業高校・城北自治会
- 正月お飾りづくり／東栢山公民館
- 年の瀬の餅つき／桜井ひろば土曜クラブ

## 一つ目小僧

### 12月8日、一つ目小僧が悪い子をさがしに来る!?

十二月八日、この日は一つ目小僧が悪い子さがしに来るといって各戸では「ミケイゴ」（目籠…目のあらい竹籠）を物干し竿の先につけて玄関の軒先に立てる。すると一つ目小僧がこれを見て、「この家には目のたくさんある化物がいる」と、ビックリして退散すると言った話を母から聞いて素直に信じたものである。

明治末年の東栢山では、こういふ古くから伝わる伝統的行事をすると共に、祖父母から父母に子供にと、古い言い伝え、ことわざなどを何の不審もいれず、これを守り実行してきたのである。

八日餅をついたり大豆の入ったご飯を炊く習わしもあった。

## ダルマ市

### 「七転び八起き」のあやかりと家内安全を願うー縁起ダルマ

今では、飯泉観音勝福寺は板東三十三ヶ所観音の巡礼五番の札所として、小田原の名所として有名であるが、当時は寺院の名称も由来は勿論、巡礼札所の由緒ある観音像が本尊とも知らず通称「飯泉の観音さん」といって、十二月十七日、十八日の縁日には午後から夜にかけて、参道や境内にはダルマ・お飾り売りの店が軒を並べ、たくさんの飲食店の小屋掛もあって非常に多くの人出で賑わった。

七転び八起きのあやかりと、家内安全を願い、正月の神棚に飾るダルマとお飾りを買に出かけたものである。

昭和三十五年、東栢山善栄寺境内内にダルマ市が誕生し、毎年十二月二十日には近隣の各戸では、このダルマ市で縁起ダルマを買い求めるようになった。



## 支える

地域防災 地域交流

### 城北工業高校との合同防災訓練

by 城北工業高校・城北自治会

いざという時は地域のつながりが心強いですね。

例年12月に城北工業高校との合同防災訓練を行っています。防災リーダーによる地域放送、高校生による車いすによる救助、防災対策課の講話、自治会有志による炊き出し、参加者の試食、避難場所・校舎内の見学、校舎のカギの確認、防災マニュアルの確認などを行います。参加者は40名ほどで、防災に対する意識が強い人が集まってきます。平成30年度からは高校からカギを預かり、夜間の避難所開設も高校の代表者と相談しながら確実に出来るようになりました。



地域交流 文化継承

### 正月お飾りづくり

by 東栢山公民館

## たのしむ

手づくりの正月飾りで新年を迎えませんか



毎年、地域の農家の方達が資材を事前に準備してくださり、更に丁寧に指導をして頂き、誰もが満足できる正月飾りを作ることができます。東栢山協議会内を回覧で募集し、毎年30人前後の参加者があります。



● 時期 ▶ 12月 ● 場所 ▶ 東栢山公民館 ● 制作費 ▶ 1人1,000円

子どもの成長 文化継承 地域交流

### 年の瀬の餅つき

by 桜井ひろば土曜クラブ

## たのしむ

できたてのお餅や豚汁に舌鼓。世代を超えて顔の見える関係が地域に



子どもたちのために、豚汁や餅つき大風揚げを企画しています。毎年たくさんの子どもが駆けつけて、できたてのお餅や豚汁に舌鼓。子どもたちは地域に根ざした取り組みをととても楽しみにしています。スタッフのみなさんありがとうございます。

土曜クラブは、昔あそび・食育体験・スポーツなどを通して大人と子どもが自由な雰囲気を楽しむことが出来るので、世代を超えて顔の見える関係が地域にできます。月に1~2回桜井小学校で交流会をしています。

## すす払い

今では暮れの大掃除は、正月ま近に各戸まちにやっているが、昔は13日が「すすはき」の日と決めて行ったものである。豊・ふすま・障子をはじめ、家財道具一切を外に出して、家の内外すみずみまで、一年中のすすを竹箆で払い、いたる所を雑巾がけし外に出してある家財道具もふき清めて中に入れる。この大掃除を「すすはき」と言った。

## 冬至

22日頃、1年中で一番昼間が短い日であり、昔からこの日に「カボチャ」「ほろふき大根」を食べると、中気にかからない。又「ユズ」「ダイダイ」を入れた風呂に入ると、丈夫で長生きをされると言われていた。

## 餅つき

私の子供の頃は、29日の餅つきは「苦餅」「二重苦餅」と縁起をかついで、28日が餅つきの日と決まっていた。正月に食べるお雑煮の「のし餅」、正月に飾る「お供え」、その日に食べる「きなこ餅」、「からみ餅」と、家族の人数に応じて相当数の餅をついたものである。お供えを作るのに、円い形がうまく出来なくて母に叱られたことを今でも覚えている。

## 大晦日

お正月のお飾りは、一夜飾りをきらって、大晦日前日の30日に完了するのが普通であった。大晦日は正月年始客の料理をはじめ、正月の準備をすべて終わって夕飯にはこれを食べると来年病気をしないといわれた「年越そば」を食べるのが習わしだった。母から除夜の鐘を聞くまでは起きていなさい。と言われたが、お正月にはく下駄と足袋を枕元において、あしたからの楽しいお正月を夢見て寝てしまい、除夜の鐘を聞かなかった気がする。